

---

# 自販機普及台数 及び年間自販金額

---

2016年（平成28年）版



一般社団法人

日本自動販売機工業会

Japan Vending Machine Manufacturers Association

〒105-0003 東京都港区西新橋2-37-6 新橋田中ビル  
TEL. 03(3431)7443 FAX. 03(3431)1967



## 目次



概況	1
自販機普及台数及び年間自販金額	2
機種別普及状況	3
中身商品別年間自販金額・構成比	3
年別普及台数及び年間自販金額推移	4
米国における自販機普及台数及び年間自販金額	5
自販機普及台数と年間自販金額の日米比較	6

# 概 況

## ○普及台数 494万台

2016年末の自販機及び自動サービス機の普及台数は、前年比1.2%減の494万1,400台となりました。

普及台数に占める割合が最も大きいのは飲料自販機で、全体の50%に相当する247万4,600台で推移し、前年より2.9%の減少となりました。台数減の主な要因としては、飲料業界再編の影響等による使用年数の増加、コンビニエンスストアのカウンターコーヒーや低価格商品販売自販機との競合により自販金額が減少したことから、中身商品メーカーの自販機投資意欲が著しく低下しことなどが挙げられます。一方、たばこ自販機は、成人識別機能taspo導入後の減少傾向に歯止めがかからず、前年比9.0%減の19万3,300台となりました。また、券類自販機は、乗車券券売機の需要が一巡したものの、外食産業における金銭管理の効率化や食品衛生の観点から、飲食チェーンを中心に食券自販機の導入が促進し堅調に推移し、全体では前年比5.0%増の5万200台となりました。

## ○自販金額 4兆7,360億円

2016年(1～12月)に自販機及び自動サービス機により販売・提供された商品・サービスの年間売上金額(年間自販金額)は、4兆7,360億3,470万円となり、前年より3.0%の減少となりました。

主力の飲料自販機分野では、熊本地震後のミネラルウォーター等の需要増や西日本地区の夏場の好天が影響したことにより飲料の生産量としては増加したものの、自販機設置台数が多い首都圏・関東地方の夏場の天候不良、コンビニ・コーヒーとの競合等が影響し、パーマシン(1台当りの売上)が減少したため、年間自販金額も同様の推移となりました。また、たばこ自販機分野では、喫煙人口の減少、不採算ロケーションからの自販機撤去など複数の要因が重なり、18.1%減となりました。なお、券類自販機分野は、全体として概ね変動はなく、全体で前年比0.1%の減少となりました。

## ○諸外国の状況

諸外国で普及台数・年間自販金額の調査が実施されているのはアメリカのみで、同国の最新のデータは、2013年のものです。同年末での普及台数は、前年比2%減の645万900台となっています(5ページ参照)。普及台数では日本を136万台ほど上回っていますが、年間自販金額は約427億ドル、日本円に換算すると4兆1,846億円程度で日本よりも約1兆292億円下回っています。

同統計は、飲料自販機、食品自販機、たばこ自販機、バラもの(カプセル玩具、ボールガムなど)自販機などが含まれていますが、アメリカにはこの他に、新聞自販機、乗車券自販機などが普及しており、これらを合わせると1,000万台を超えると見られています。

ヨーロッパにおける公式な統計はありませんが、EVA(欧州自動販売協会)などの推計によれば飲料・食品自販機が380～390万台、たばこ自販機が40万台程度とされ、ロシアをはじめとする中欧・東欧やトルコなどの自販機振興国での普及が進んでいるとのことです。

一方、中国では大都市の地下鉄等の駅構内やオフィス・工場などを中心に直近では13～14万台程度が普及しているとみられ、今後も設置が加速することが予想されています。

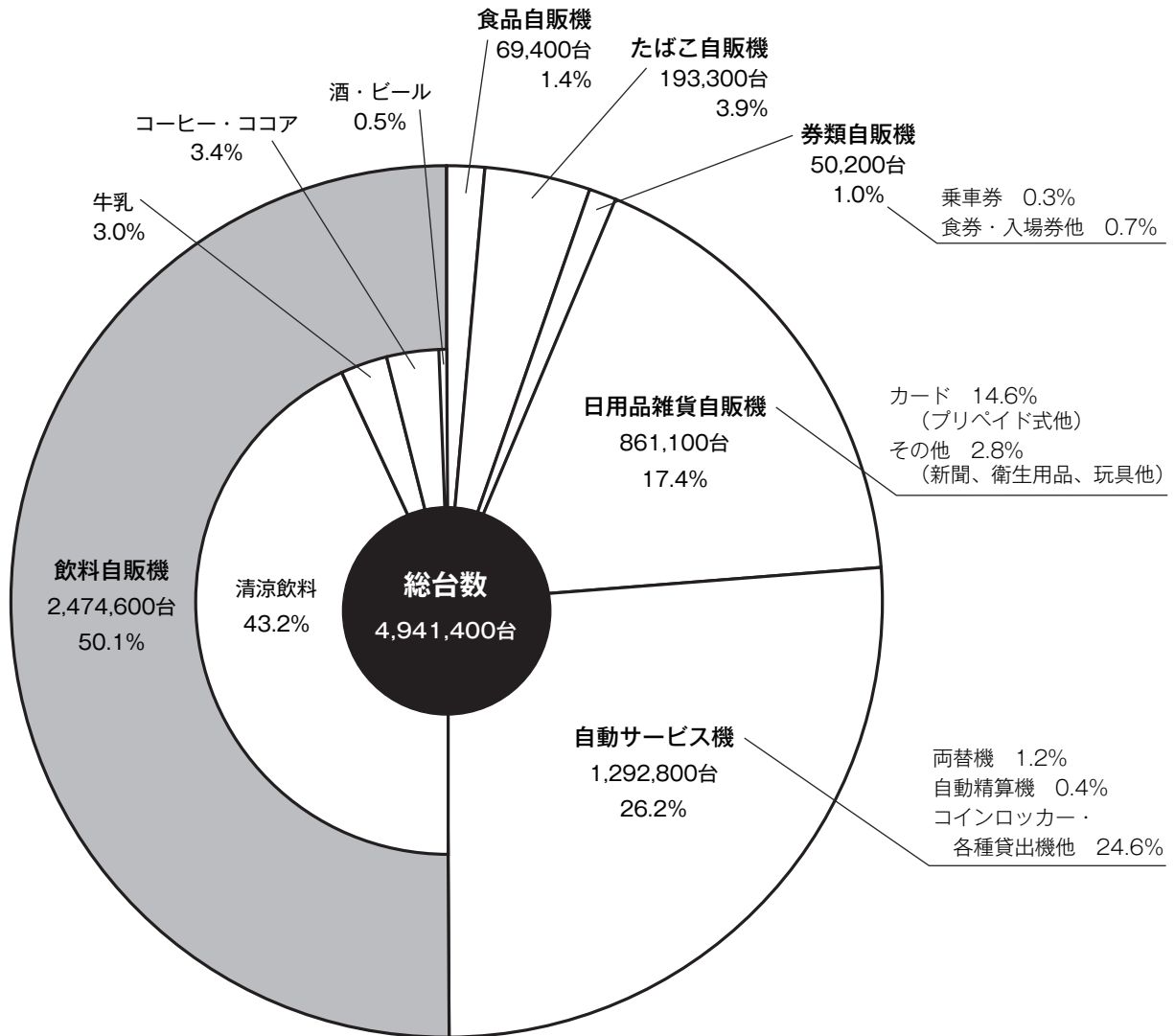
## 自販機普及台数及び年間自販金額

2016年12月末現在

機 種	中 身 商 品 例	普及台数 (台)	前年比 (%)	自販金額(千円) (1～12月)	前年比 (%)
飲料自動販売機	清涼飲料	2,133,000	97.5	1,740,528,000	95.5
	牛乳	148,000	91.9	120,620,000	89.9
	コーヒー・ココア(カップ式)	169,000	97.1	137,904,000	96.3
	酒・ビール	24,600	95.7	30,750,000	92.0
飲料小計		2,474,600	97.1	2,029,802,000	95.1
食品自動販売機	インスタント麺・冷凍食品・ アイスクリーム・菓子他	69,400	100.0	54,132,000	100.0
たばこ自動販売機	たばこ	193,300	91.0	209,356,000	81.9
券類自動販売機	乗車券	14,800	97.4	1,415,842,000	97.4
	食券・入場券他	35,400	108.6	410,972,800	109.7
券類小計		50,200	105.0	1,826,814,800	99.9
日用品雑貨自動販売機	カード(プリペイド式他)	722,300	100.1	417,967,500	101.1
	その他 (新聞、衛生用品、玩具他)	138,800	99.9	52,762,400	98.9
日用品雑貨小計		861,100	100.0	470,729,900	100.8
自動販売機合計		3,648,600	97.6	4,590,834,700	96.9
自動サービス機	両替機	61,000	102.5	—	—
	自動精算機(駐車場・ホテル他)	21,800	100.0	—	—
	その他 (コインロッカー・各種貸出機他)	1,210,000	102.0	145,200,000	102.0
自動サービス機小計		1,292,800	102.4	145,200,000	102.0
合 計		4,941,400	98.8	4,736,034,700	97.0

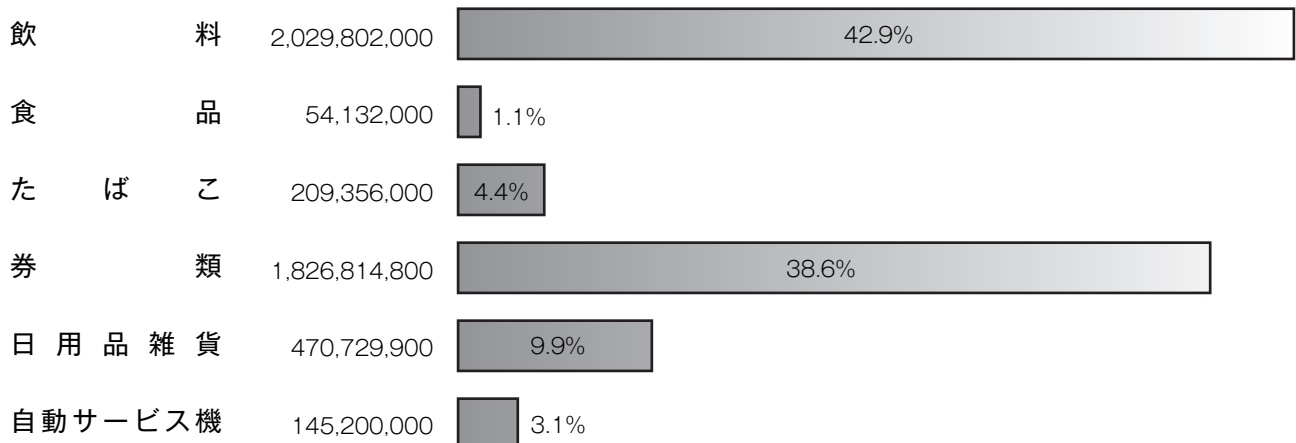
# 機種別普及状況

2016年12月末現在



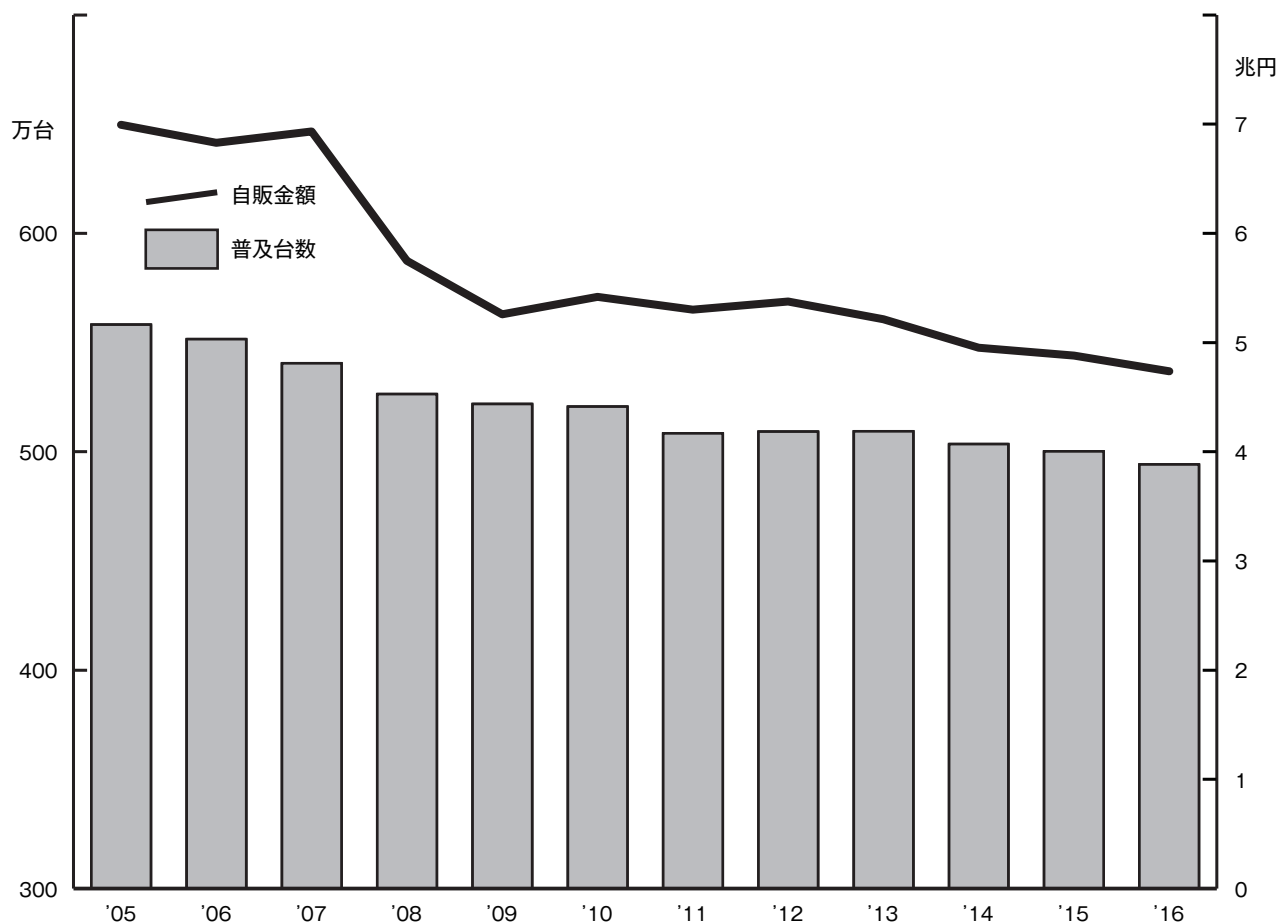
## 中身商品別年間自販金額・構成比

2016年1月～12月 (単位：千円)



## 年別普及台数及び年間自販金額推移

年	普及台数（台）	前年比（％）	自販金額（千円）	前年比（％）
'05（平17）	5,582,200	100.6	6,994,300,570	101.0
'06（平18）	5,515,700	98.8	6,830,267,800	97.7
'07（平19）	5,405,300	98.0	6,933,706,400	101.5
'08（平20）	5,263,900	97.4	5,747,801,500	82.9
'09（平21）	5,218,600	99.1	5,259,359,000	91.5
'10（平22）	5,206,850	99.8	5,418,567,000	103.0
'11（平23）	5,084,340	97.6	5,302,311,940	97.9
'12（平24）	5,092,730	100.2	5,374,979,900	101.4
'13（平25）	5,094,000	100.0	5,213,802,000	97.0
'14（平26）	5,035,600	98.9	4,952,655,200	95.0
'15（平27）	5,001,700	99.3	4,881,183,200	98.6
'16（平28）	4,941,400	98.8	4,736,034,700	97.0



## 米国における自販機普及台数及び年間自販金額

機 種	年	2013 年 (平成 25 年末現在)		対前年比 (%)		構成比 (%)	
		普及台数	自販金額 (千ドル)	台数	自販金額	台数	自販金額
ホットドリンク (カップ)		246,000	2,465,000	98.4	100.0	3.8	5.8
コールドドリンク (カップ)		21,000	151,000	84.0	86.8	0.3	0.4
コールドドリンク (容器入り)		2,695,000	24,135,000	96.4	97.3	41.8	56.5
ミ ル ク		78,000	661,000	97.5	95.5	1.2	1.6
菓子/スナック/ペイストリー		1,194,000	10,263,000	99.9	101.6	18.5	24.0
ア イ ス ク リ ー ム		98,000	895,000	98.0	98.1	1.5	2.1
食 品		145,000	2,863,000	100.0	101.0	2.3	6.7
た ば こ		18,000	180,000	90.0	86.1	0.3	0.4
バ ラ も の		1,955,900	387,000	99.1	98.1	30.3	0.9
そ の 他		—	701,000	—	100.1	—	1.6
合 計		6,450,900	42,701,000	98.0	98.6	100.0	100.0

注) 米国ベンディング・タイムス誌の調査をもとに日本自動販売機工業会で作成。

2016年4月1日現在、米国ベンディング・タイムス誌による2014年以降のデータ公表なし。

## 自販機普及台数と年間自販金額の日米比較

